

降雪に対する農作物の管理について

令和4年2月7日
農業技術課

甲府地方気象台によると、南岸低気圧と寒気の影響で、9日（水）深夜から10日（木）の夜まで、長時間の降雪が見込まれます（正式な気象情報は8日（火）に発表される予定）。

甲府盆地で15～20センチ、河口湖で30～40センチの積雪となる可能性があります。このため、次の事項を確認し、適切な対策を講じてください。

山梨県中・西部の天気予報（7日先まで）								
2022年02月07日11時 甲府地方気象台 発表								
日付	今日 07日(月)	明日 08日(火)	明後日 09日(水)	10日(木)	11日(金)	12日(土)	13日(日)	14日(月)
山梨県	晴 	晴時々曇 	晴後曇 	曇時々雪か 雨 	曇一時雪か 雨 	曇時々晴 	曇一時雨か 雪 	曇
降水確率(%)	-/-/0/10	10/0/0/0	20	80	50	30	50	40
信頼度	-	-	-	A	C	A	C	B

※最新の気象情報に注意してください。

◎降雪対策

○果 樹

- ・加温中のハウスでは、降雪直後から二重カーテンを開放し加温を始め、融雪に努める。また、燃料についても十分補充しておく。
- ・加温前のハウスでは、谷や巻き上げたビニールなどへの積雪には注意し、積雪が増える場合には荷重バランスに注意しながら、速やかに除雪する。
- ・ブドウ、スモモ、雨よけハウス等で、防鳥網を広げてある園では防鳥網を除去する。
- ・棚栽培の作目では、支柱などで補強するとともに、粗切り剪定を行い棚への積雪を少なくする。
- ・棚や施設に雪が積もった場合は、棚等の荷重バランスに注意しながら、できるだけ速やかに除雪する。
- ・立木類では、積雪による枝折れを防ぐため支柱などで補強を行う。

○野菜・花き

- ・加温ハウスでは雪が積もる前から暖房機を稼働させるとともに、二重カーテンをあけて融雪に努める。
- ・無加温ハウスでは、補助支柱を設置して補強し、積雪が多く予想される場合は、簡易ストーブで早めに加温し、融雪させる。
- ・カリフラワーなどのトンネル栽培では、積もった雪は早めに除雪し、押しつぶされる等の被害を防ぐとともに、トンネル内が加湿状態にならないよう換気に注意する。
- ・スイートコーン等のトンネルの準備を行う場合は、堆肥の散布による融雪対策等を行い、準備が遅れないようにする。
- ・未使用ハウスではビニールを巻き上げるか、除去し、積雪による倒壊を避ける。

なお、農業技術課HPに農業用ハウスと果樹棚の雪害防止対策指針（大雪に対する技術対策資料）を掲載していますので参考として下さい。

雪害対策HPアドレス

http://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/documents/02_setsugaitaisaku_manual.pdf